慶應志木会会報

慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

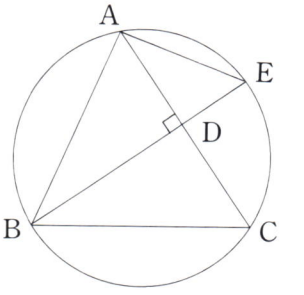
1994(春・夏号) ● vol.11

チャレンジ! 志木高

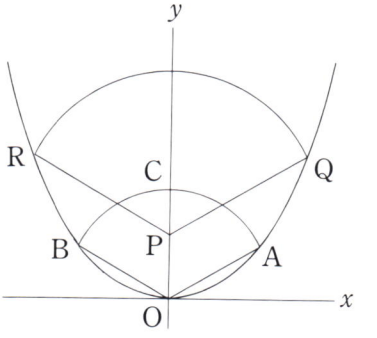
1 △ABCの頂点Bから辺ACに垂線BDを引き、その延長と△ABCの外接円の交点をEとしたところ、△ADEと△BDCの面積比が 1：3 となった。外接円の半径の長さを5, AB＝8としたとき、

(1) ADの長さを求めよ。

(2) DEの長さと、△ABCの面積 S を求めよ。



2 Oを原点とし、2点A, Bが放物線 $y=\frac{3}{16}x^2$ 上にある扇形OABがあって、$\overset{\frown}{AB}$ が y 軸と点Cで交わっている。また、扇形PQRは扇形OABと相似形になるように、点Pは線分OC上を、点Q、Rは放物線上を動くものとする。点Aの座標を(4, 3)とするとき、次の空欄に適当な数または式を記入せよ。



(1) 扇形OABと扇形PQRの対応辺の長さの比が 1：k ($k>1$)であるとき、図の直線PQの式と、線分CPの長さを k を用いて表すと、

PQ：$y=$ ［　　］

CP＝ ［　　］

(2) 2点C, Pが重なったとき、扇形PQRの面積は扇形OABの面積の ［　　］ 倍となる。

※これは、本年度数学の入試問題でした。皆さんできましたか?

FROM SHIKI ●志木だより

卒業式

3月24日に第44回卒業式が行われ、今年は例年より2クラス多い342名の生徒が本校を卒業して行きました。これで創立からの卒業生の総数は9,567名となりますので、2年後には1万名を数えることは確実です。今年の進路をみますと、文学部16名、経済学部91名、法学部法律学科55名、政治学科55名、商学部36名、医学部7名、理工学部41名、総合政策学部18名、環境情報学部20名、他大学進学等3名の計342名となっています。

また卒業40周年のOB招待には第4期生を招き、金田康政、杉　猛、高橋公郎、高松勇二、立岡　進、田中照海、藤岡民良、星　邦造、堀口正義、山根泰治の各氏が出席されました。その折、藤岡氏が代表となって学校にご寄附を賜りましたので、本校教育充実資金として役立てるように致しました。

尚、諸学校部門に新設された第1回の塾長賞に輝いた3名の卒業生を表彰しました。網中史文・田村裕一郎・丹羽永一の3君は、昨年度の全国高等学校将棋選手権大会で準優勝の栄誉に輝いたことによる受賞です。

入学式

4月6日には入学式が行われ、338名の生徒を迎えました。今年は一般240名と帰国若干名の募集に対して、合計1,805名の応募があり、その結果一般から234名、帰国から14名の計248名が外部（受験）より入学し、内部進学者は、普通部より20名、中等部より64名の計84名が入学を許可されました。特に今年は一般からの募集人数を10名減らしたのにもかかわらず、内部からの進学者が昨年の29名に対して今年は84名と急増した結果、定員をオーバーすることになってしまいました。以上のような事情から、本年の1年生は8クラスのスタートとなりました。

また、ワイ・エフ・ユー留学生としてドイツからライトナー・マーチン君が今年1年間2年生として、本校で勉学することになりました。

新カリキュラム

平成6年度より高校段階での新教育課程が始まり、本校では1年生に「課外の科目」が登場しました。受験情報誌などからの取材を受けるなど、これについては、各方面より注目を浴びています。

これは本校の専任教師による自由研究A～Fの6科目と、情報処理、ドイツ語Ⅰ、フランス語Ⅰ、スペイン語Ⅰ、イタリア語、ロシア語Ⅰ、中国語Ⅰ、朝鮮語（韓国語）Ⅰ、

アラビア語、インドネシア語、ヴェトナム語、古典ギリシャ語、古典ラテン語、サンスクリット語、スワヒリ語、タイ語、トルコ語、ビルマ語、ヘブル語、ペルシャ語、ポルトガル語、モンゴル語の計28科目による週２時間の選択科目で、来年には１・２年生の枠を超えてクラスが編成されることになります。今年は１年生だけで希望科目は、知名度の高いものに偏りぎみであったのですが、語学科目などは希望者が１人でもいれば開講するという約束なので、全科目によるスタートとなりました。また平成３年度より始めている語学課外講座は、今年より語学中級コースと改めて金曜の７時限に行っています。

50周年記念誌

平成10年に迎える創立50周年記念誌の編集準備委員会が発足しました。委員は松崎・三義・小林の３先生方です。

本年の行事予定

４月16日(土)新入生歓迎会
４月23日(土)開校記念日
５月10日(火)２年演劇鑑賞　俳優座
　ブレヒト作「コーカスの白墨の輪」
６月３日(金)、４日(土)　学部説明会
６月４日(土)ＰＴＡ総会
６月27日(月)～７月１日(金)第一回テスト
７月11日(月)～13日(水)クラスマッチ
７月16日(土)父母会
10月２日(日)運動会
10月７日(金)～９日(日)１年研修旅行(箱根)
10月11日(火)～13日(木)２年　〃　(北陸)
10月12日(水)～14日(金)　〃
10月11日(火)～15日(土)３年見学旅行(北海道)
10月12日(水)～16日(日)　〃
収穫祭　未定
11月24日(木)～29日(火)　第二回テスト
12月７日(水)マラソン大会
12月17日(土)父母会

教員人事

化学の高山弘先生が３月31日をもって停年退職をなさいました。本校の創立以来46年余の長きにわたり勤続されてこられたので志木会の諸氏には思い出深い方々が多いと思います。　(伊藤先生記)

この先の特集で**「卒業生　知って得する便利なMAP」**を作ってみたいと考えております。OB諸兄の会社、店舗等で載せても良いとお考えの方、編集子まで御一報頂けませんでしょうか？　特に今回は飲食、サービス等を中心に作成したいと思います。

連絡先　23期　中村弘司
(有)太田堂　FAX3815-7050

『志木高がパンクする？』

卒業生の皆さんの中には、そろそろご子息の高校進路を考えている方、又受験を近く控えている方が数多くいる事かと思います。

そこで今回は皆さんに最近の志木高の受験情報をお知らせしたく思います。

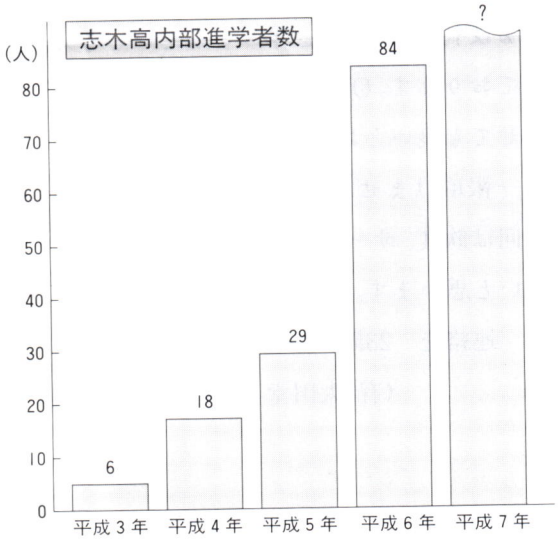
まず、中等部・普通部よりの内部進学者の数ですが、別表にあるように昨年より激増していることがお分かりになると思います。この傾向が来年度も続くようですと学校の教室の関係で窮地に立つと悩みをもっているようです。皆さんの在学中は恐らく10名程が内部進学して来る程度であった事を記憶されていることと思います。しかし、何と今年は84名という大量の内部進学者を迎え、1学年6クラスから8クラスに応急処置をしたそうです。昨年度までは、学校側としては内部進学者が増えても外部よりの募集人数は変えない方針をとっていたので、このままでは志木高はパンクしてしまうという悲鳴が上がっています。

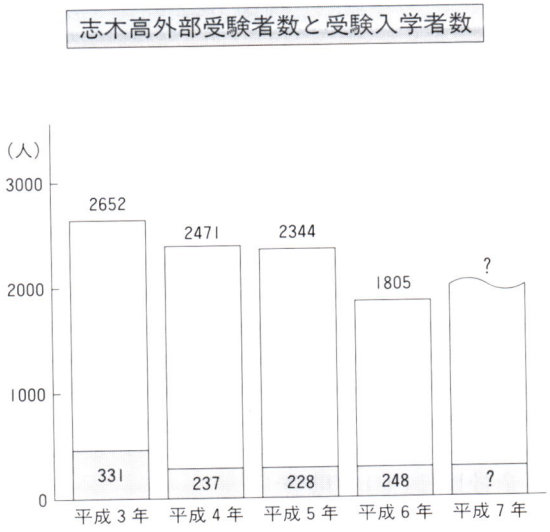
その昔、志木は田舎であるというイメージは今では一新され、都心への通勤圏として大きく発展しています。(正門の前の泥道は今では信号がなければ渡れない程の変わり様です)

この立地の中で3万7千坪近くを有する志木高は、教育環境の素晴らしさで大きくクローズアップされ、年々多くの人に認められてきています。内部進学者の数が激増したのもこの点が大きな原因と思われます。更に近年内部進学者もレベルの高い生徒が増えている様子ですし、外部受験者のレベルも年々アップしているので相当良い成績でなければ試験をパスしないという情況です。外部より発行されている受験誌には塾高の合格率が40%の生徒でも志木高の合格率が20%であるというデータが載っている程です。

何と志木高も変わったと皆さん思われる事でしょう。

ご子息を自分の母校にとお考えの皆さん、仲々情況は厳しいようですが何とか、我が志木高の門をくぐる事の出来るよう頑張ろうではありませんか。





同期会だより

4期

今年３月24日、志木高卒業式に卒業40周年ということで、昭和29年卒の我々４期生を招待していただきました。当日は卒業時の約1/4の９名が出席しました。式の内容につきましては会報（VOL7号）で、１期の大谷先輩の紹介記事もありますので省略しますが、想像はしていたものゝ、周辺の環境変化にビックリ、あの辺りが昔、何々があった場所等々、暫時、懐かしさと、往時をしのびつゝ、高山、三田両先生と楽しく歓談することが出きました。

鐵野校長のお考えで、このような機会を設けていただくことになりましたが、昔の卒業生としての感激は一入であり、格別のものでした。

（藤岡民良記）

5期

昭和27年４月より昭和30年３月まで志木校の学び舎で机を並べた方々を五期生としてきた。名簿上、106名になっておりますが行方不明の方が17名、逝去された方が８名（平成５年１月　辻正二郎君逝去）、音信がとれる方81名となっています。

五期会としての会合はもっていませんがゴルフをされる方を中心に100クラブがあり現在竹下武比古君が代表でよく集っています。年２回をタウンミーティングと称してゴルフをなさらない方も出席されますので御連絡下さい。

我々も早や還暦を迎える年令になってまいりました。御存知のごとく母校は卒業40周年たった方々を後輩の卒業式の来賓として招待して頂けることになっています。５期生は平成７年３月24日（金）に招かれますので、予定しておいて下さい。

（宮田・寺嶋記）

7期

去る３月４日、我が７期同期生19名が大舘・高山・建部・奥井、四老師をお迎えし、銀座のBRBで一年ぶりに旧交を温めた。毎度のことながら入学時の40年前にタイム・スリップをし３年間の楽しかりし日々を（先生方にシボラレタことは意識的に忘れ…）懐かしんだ。今回は在校時の半数に当たる50数名から返事があり19名が出席をしたが気の置けない仲間の集まりは素晴らしく、今後も我々生ある限り続けたいものである。今回返事を出して出席できなかった仲間には是非次回は出席して貰いたいし、その為に昨年も触れたように、来年は温泉宿で１泊する計画で、安くて良い宿を探しているので、情報があれば連絡下さい。なお、今回幹事の不手際で奥井先生にご迷惑をお掛けし、二次会で世話になった大山君に大散財を掛けたことを、この紙面をお借りしてお詫びすると同時に何らかの償いをするつもりです。

（幹事　平澤壽朗）

11期

「遊志会」の催しには、卒業以来のご無沙汰組や海外勤務からの帰国組など懐かしい顔の参加も増え、ますます盛会です。

○２月24日（木）　新年会

三越本店特別食堂にて昨年を凌ぐ恩師８名、会員43名の参加を得て、賑やかに行われました。併せて、新旧幹事の引継ぎが行われ、平成６年度の幹事はＣ組が担当します。

（チーフ／野村、望月、栗原、村木、平田）

○４月18日（月）　相川宗一君講演会

●維持会費について

本年３月に第二期５年分（平成５年度～平成10年度）の維持会費徴収のお願いをいたしましたが、４月末で約1400名の会員よりご入金いただいております。未納の皆様におかれましては、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。また、会費納入者に対しての記念品につきましては世話人会、幹事会で検討の結果、50周年記念事業の準備等も勘案して、恐縮ですが今回は見送ることとさせていただきましたので、ご了承願います。

なお、本件に関してのご照会は下記宛お願いします。

幹事長　大谷　熙（１期）　TEL 3632-0005
財務委員　大道　賢二（12期）　TEL 3572-1436

●平成６年度役員について

一部の世話人、幹事に異動があり、今年度は下記の役員で運営していきますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。（名前の下に下線を引いてある方々が新たに世話人、幹事を委嘱されました。）

平成６年度慶應志木会役員一覧表

・名誉会長　鐵野善資（校長）
・会長　櫻井英太郎（１期）
・副会長　多田毅（７期）　五老輝彦（９期）
　伊藤明治郎（主事）
・監事　龍野和久（１期）　菅原武（７期）
・幹事長　大谷熙（１期）

・幹事・世話人

期	氏名（＊印世話人）
1	菊池誠之助　藤井淳
2	＊佐藤弘司　鴻田一章　遠山正秀　浅川浩
3	品川仁　岩崎勝利　菅野光男　岩瀬充
4	高橋公郎　立岡進　＊藤岡民良
5	宮田勝　＊寺嶋延行　小林石三
6	真野信裕　松本福太郎
7	鈴木正治　平澤壽朗　早川進　渡辺忠彦
8	＊青木宏至　大須賀均　磯部和宏
9	＊久保田晃功　南部達雄　加島延夫　今村信男　志知英男
10	＊荒木幸生　馬場紘二
11	＊鴻田益孝　＊桜井馨　馬渕祥宏
12	＊岡本哲　＊大道賢二　＊伊藤清一　朝倉和行　黒崎明雄
13	＊千葉宗雄　清水武寿
14	百瀬大策　築山正俊
15	＊本橋重夫　＊小笠原準一　＊原田薫　倉田伸二　大関和樹　＊鈴木祐一
16	川端清治　松島茂樹
17	＊西村孝一　＊須永泰司　＊増山治一郎　荘敬典　宗田文明
18	奥村一人　福島由明
19	＊中西廣策　藤本賢夫　二島洋司　星野恭一郎
20	光藤良次　福本博行　深尾邦彦　中一弥
21	＊福地敏之　＊飯島敏一　内山洋一　小野田哲也

期	氏名（＊印世話人）
22	＊金子康雄　桜井造雄
23	＊牧野敏彦　佐藤信也　外山公夫　中村弘司　谷口治　逢沢一郎
24	＊赤木均　島影幸有　田沼潔　長本誠
25	高橋宣行　小川洋　島田徹
26	山崎嘉正　金子泉
27	吉野幸宏　大山俊雄　＊轟幸夫
28	大舘信　望月一
29	佐々木任人　木村尚行
30	岸田一男　木島一郎
31	内匠屋健　嘩道佳明
32	町野素久　横江資友
33	小玉裕
34	奥山研一郎　山下孝　宇賀神隆
35	＊山口一午　松島修　業天浩二
36	石川公一郎
37	原田純一　鍋島康友
38	平尾圭一　大坪伸至　知久康成
39	＊丸山和紀　＊岡本健司　田中浩樹
40	＊井上晴生　税所篤史
41	鈴木和　柏木徹
42	小島圭
43	藪原一暁
44	宮田真詞

編　集　後　記

会報取材のため、20年ぶりに志木高を訪れる。我が母校は、曾てのままの姿で私を迎えてくれた。制服を着て始めて門を潜った頃を思い出し、はからずも胸に熱いものが流れる。普段意識していなかった慶應義塾との結びつきを改めて感じ……　などと書いている私もそろそろおじさんの仲間入りなのでしょうか？　（T）

慶應志木会会報　1994(春・夏)●vol.11
平成６年６月15日発行
編集・発行　慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)
〒353 志木市本町4-14-1
発行人　櫻井英太郎
印刷　㈱精興社